

知的財産権

事例で学ぶ！知的財産コンプライアンス — 知的財産権・著作権を守るには

現代のビジネス環境では、デジタル化とグローバル化の進展により、知的財産権や著作権の重要性が急速に高まっています。AIや生成コンテンツの普及、情報共有の容易さに伴い、無意識の権利侵害や不正利用が企業に深刻な法的リスクをもたらす事例が増加しています。本コースは、具体的なケースを通じて、権利保護の基本と実務上の注意点を理解し、企業の信頼とブランド価値を守るために不可欠な知識を身につけることができます。

POINT
01

最新トレンドを網羅！

創作物の利用 → 自社資産の保護
→ 情報管理の流れに、データ保護や
ガバナンスなど最新動向も取り入れ、
信頼ある取引行動に繋がれます。

POINT
02

「気づき→学び→実践」

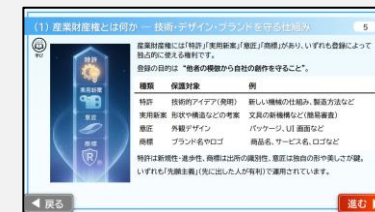
「気づき→学び→実践」の段階的な
学習を通して、適切な行動を考え
ることができるようになります。

気づき	身近なケースから「これって大丈夫？」を考える。
学び	法律やルールの背景をわかりやすく整理する。
実践	具体的な職場行動としてどう生かすかを考える。

POINT
03

図表で複雑な制度もすぐ把握

著作権・商標・特許・営業秘密な
ど多様な知財領域を、図表とポイ
ント整理で視覚的に理解しやすく
なっています。



事例で学ぶ！知的財産コンプライアンス — 知的財産権・著作権を守るには

学習目標

- ・ 他人の創作物を正しく扱う判断力を身につける。
- ・ 自社の創作やブランドを守る視点を養う。
- ・ 情報・個人データを安全に管理できる力を高める。
- ・ 法令遵守を超えて「信頼を守る行動」へつなげる。

前提知識

特になし

※「事例で学ぶ！ はじめてのコンプライアンス」をすでに受講している、もしくはそれと同等の知識を有することが望ましい。

Lesson1 他人の創作を正しく使う — 著作権の基本

- (1) 著作権とは「創作を守るための約束」
- (2) 引用と複製の違いを理解する
- (3) 社内資料でも「社外公開」と同じ意識を
- (4) AI・無料素材を使うときの注意
- (5) 政府・自治体など公的資料を使うときの注意

Lesson2 自分たちの創作を守る — 産業財産権(特許・商標・意匠)

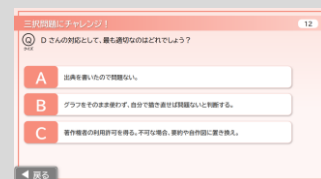
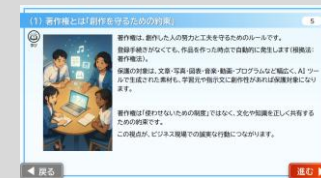
- (1) 産業財産権とは何か — 技術・デザイン・ブランドを守る仕組み
- (2) 登録と保護の流れ — 出す前に、まず確認を
- (3) 他社の権利を侵害しないためのチェックポイント
- (4) 事例から学ぶ — 似ているロゴ・名称の落とし穴

Lesson3 情報管理と営業秘密・個人情報

- (1) 情報管理の基本：守るべき情報の「3つの壁」
- (2) 個人情報保護の基本
- (3) 情報漏えい防止：「うっかり」を防ぐ3つの鉄則
- (4) 外部連携ルール：取引先・委託先との情報共有
- (5) AI・デジタル技術利用時の新リスク管理

セルフチェック
確認テスト
コースレビュー

- 受講期間：6ヵ月（＋閲覧期間6ヵ月）
- チュータによる個別指導：なし
- 標準学習時間：30分
- PDF資料：あり
- 定価：¥5,000円（税別）



1
気づき

2
学び

3
実践

セルフ
チェック